# ポスター発表

**発表時間　奇数番　3 月 21 日（土）12:00~12:45，3 月 22 日（日）12:45~13:30**
**偶数番　3 月 21 日（土）12:45~13:30，3 月 22 日（日）12:00~12:45**

## 果　　樹

P001　カンキツ新品種‘瑞季’の種子形成と着果特性
○北島宣[1]・金好純子[2]・柳本裕子[2]・山﨑安津[3]・中﨑鉄也[1]
（[1]京都大農学研究科,[2]広島総研農技セ,[3]農研機構果樹茶部門）

P002　カンキツ新品種‘瑞季’の収穫時期と貯蔵温度の検討
○柳本裕子・金好純子（広島総研農技セ）

P003　ミカンゲノムデータベース（MiGD）の構築　−ウンシュウミカンとカラタチの全ゲノム情報を含むカンキツの多型データベース−
遠藤朋子[1]・川原善浩[2,3]・大村三男[4]・寺本由美子[5]・伊藤剛[3]・藤井浩[1]・○島田武彦[1]
（[1]農研機構果樹茶部門,[2]農研機構作物開発センター,[3]農研機構高度解析センター,[4]静岡大農学部,[5]（株）情報数理バイオ）

P004　CAPS マーカーを用いた香酸カンキツの品種識別
○新見恵理[1]・藤井浩[2]・太田智[2]・岩倉拓哉[3]・遠藤朋子[2]・島田武彦[2]
（[1]徳島農総技セ,[2]農研機構果樹茶部門,[3]和歌山果樹試）

P005　DNA マーカーに基づくユズおよび近縁分類群の遺伝的多様性について
○太田智[1]・新見恵理[2]・岩倉拓哉[3]・野中圭介[1]・藤井浩[1]・島田武彦[1]
（[1]農研機構果樹茶部門,[2]徳島農林水産総技支援セ,[3]和歌山果樹試）

P006　カンキツ栽培における通信型マルドリシステムの開発
○中島勘太（山口農林総技セ）

P007　ウンシュウミカン‘ゆら早生’および‘小原紅早生’における水分ストレスがユズ肌症の発生に及ぼす影響
○山田英尚・伊賀悠人・山下泰生（香川農試府中果樹研）

P008　ブラッドオレンジ培養砂じょうにおけるフラボノイド及び アントシア二ン代謝に及ぼす温度と植物ホルモンの影響
○古島奈実[1]・長澤瑠花[1]・馬剛[1,2]・張嵐翠[1]・八幡昌紀[1,2]・山脇和樹[1,2]・加藤雅也[1,2]
（[1]静岡大農学部,[2]静岡大院総合科学技術研究科）

P009　メタボローム解析によるウンシュウミカン含有水溶性成分の網羅的測定と比較
○黒田裕樹・曽我朋義・原佑介（慶應義塾大）

P010　生薬「枳実」の生産を目的とした改良防除暦のカンキツ黒点病およびカイガラムシ類に対する防除効果
○渡邉悟[1]・鶴田惇[1]・中島康晴[2]・河里芳広[2]・神保智一[1]・小柳裕和[1]（[1]（株）ツムラ,[2]紀の里農業協同組合）

P011　リンゴ品種‘黄香’の裂果の関する研究
○大谷昭博[1]・澤村大祐[1]・佐々木真人[2]・加藤藍[2]・渡邉学[3]・小森貞男[1]
（[1]岩手大農学部,[2]岩手農研セ,[3]岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ）

P012　リンゴ 19 品種における果肉硬度の遺伝および環境変異
○田沢純子[1,2]・工藤剛[1]・工藤悠[1]・坂本康純[1]・初山慶道[1]・石塚大賀[3]・奈島賢児[3]・山田昌彦[3]
（[1]青森産技セりんご研,[2]筑波大院生命環境科学研究科,[3]日本大生物資源科学部）

P013　Association of auxin, cytokinin, abscisic acid, and plant peptide response genes during adventitious root formation in Marubakaido apple rootstock (*Malus prunifolia* Borkh. var. ringo Asami)
○星知希[1]・齋藤隆徳[1]・Opio, Peter[1]・王珊珊[1]・大川克哉[1]・近藤悟[1]・前島勤[2]・小原均[3]
（[1]千葉大院園芸学研究科,[2]長野南信試,[3]千葉大環境健康フィールド科セ）

P014　リンゴ台木における挿し木発根性の QTL 領域に座乗する遺伝子の解析
○山田拓未[1]・森谷茂樹[2]・西山学[1]・加藤一幾[1]・金山喜則[1]（[1]東北大院農学研究科,[2]農研機構果樹茶部門）

P015　リンゴ果肉粉質化に関与する MdPG1 型簡易識別方法の開発
○五十嵐恵[1]・赤田朝子[1]・田沢純子[2]・初山慶道[2]（[1]青森産技セ弘前工研,[2]青森産技セりんご研）

P016　*Malus hupehensis*（無配偶生殖実生）の水耕栽培を利用した早期開花
○劉嘉儀[1]・岡田初彦[2]・小森貞男[3]・村上政伸[4]・渡邉学[4]
（[1]岩手大院連合農学研究科,[2]福島農総セ果樹研,[3]岩手大農学部,[4]岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ）

P017　ジベレリンペーストの塗布がリンゴの当年生苗の新梢伸長に及ぼす影響
○馬場隆士・岡田和馬・守谷友紀・花田俊男・阪本大輔・岩波宏（農研機構果樹茶部門）

P018　リンゴ倍加半数体‘95P6’等の葯培養に関する研究
○伊藤幹人[1]・間瀬誠子[2]・岡田初彦[3]・西谷千佳子[4]・國久美由紀[4]・佐藤善政[5]・渡邉学[6]・小森貞男[1]
([1]岩手大農学部,[2]農研機構作物開発センター,[3]福島農総セ果樹研,[4]農研機構果樹茶部門,[5]秋田果樹試,
[6]岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ)

P019　ブドウ‘デラウェア’のGA高感受性系統におけるGA応答関連遺伝子の発現
○渋谷知暉[1]・石川ひかる[1]・白澤健太[2]・栂野康行[3]・江角智也[1]
([1]島根大生物資源科学部,[2]かずさDNA研,[3]島根農技セ)

P020　野生ブドウ「リュウキュウガネブ」における葉の形態による多様性の評価
○塩崎修志・世戸景子(大阪府立大院生命環境科学研究科)

P021　ブドウ‘長果G11’(クイーンルージュ®)における果皮色とアントシアニン含量の関係
○市川悦子・平賀正浩・浅沼希望・玉井浩(長野果試)

P022　伊賀地域におけるブドウ「クイーンニーナ」の収穫適期基準の開発
近藤宏哉[1]・○安川大二郎[2]([1]三重農研,[2]三重農研伊賀)

P023　大粒系ブドウのジベレリン処理による無核化機構の再考察
○吉村大輔[1]・佐藤明彦[2]・宮崎周[1]・北佳祐[1]・辻井由布佳[1]・米森敬三[1]([1]龍谷大農学部,[2]農研機構果樹茶部門)

P024　温度処理がブドウ‘ルビーロマン’と‘安芸クイーン’果粒の着色と果皮における植物ホルモンに及ぼす影響
○高居恵愛[1]・片山礼子[1]・松田賢一[2]([1]石川県立大,[2]石川農総研セ)

P025　日本ナシ新品種‘瑞月’
○市川啓[1]・齋藤寿広[2]・寺上伸吾[2]・西尾聡悟[2]・竹内由季恵[2]・渡邊靖洋[1]・仙田太洋[1]
([1]愛知農総試,[2]農研機構果樹茶部門)

P026　ニホンナシ‘豊水’の樹体ジョイント仕立てにおける主幹切断が樹体生育と果実品質に及ぼす影響
○Luo, Kuanyu[1]・瀬古澤由彦[2]・菅谷純子[2]([1]筑波大生命環境研究科,[2]筑波大生命環境系)

P027　V字仕立てのニホンナシ‘豊水’における初期収量および果実品質について
○羽山裕子・阪本大輔・三谷宣仁・山根崇嘉・杉山洋行・伊東明子・草場新之助・喜多正幸(農研機構果樹茶部門)

P028　ニホンナシ‘甘太’における収穫適期の検討ならびにジベレリンペースト処理が収穫期および果実品質に及ぼす影響
○柴﨑茜・島田智人・前島秀明・浅野亘(埼玉農技研セ)

P029　ニホンナシにおける樹上での果皮のクロロフィル含量の非破壊計測による収穫期予測
○加川敬祐[1]・山根崇嘉[2]・羽山裕子[2]・腰替大地[3]・寺門巌[1]([1]茨城農総セ園研,[2]農研機構果樹茶部門,[3]鹿児島農総セ)

P030　モモ新品種‘ひめまるこ’
○八重垣英明・末貞佑子・澤村豊・土師岳・安達栄介・山根崇嘉・山口正己(農研機構果樹茶部門)

P031　主要経済品種を含むモモ8品種における酸度の遺伝および環境変異
○山田昌彦[1]・奈島賢児[1]・末貞佑子[2]・澤村豊[2]・八重垣英明[2]([1]日本大生物資源科学部,[2]農研機構果樹茶部門)

P032　深層学習による画像を用いたモモ樹の水ストレス推定
○杉山洋行・山根崇嘉・三谷宣仁・羽山裕子・伊東明子・喜多正幸(農研機構果樹茶部門)

P033　晩生モモ‘白露’の0℃貯蔵の成否と熟度との関係および香気成分の変化
○岩井綾平[1]・河井崇[1]・樋野友之[2]・藤井雄一郎[2]・Galis, Ivan[1]・平野健[1]・中野龍平[3]・福田文夫[1]
([1]岡山大院環境生命科学研究科,[2]岡山農研,[3]京都大院農学研究科)

P034　‘ひだ国府紅しだれ’台を用いた岡山県オリジナル新品種の樹体生育の特性と果実品質
○河村美菜子・荒木有朋・樋野友之・鵜木悠次郎・佐々木郁哉・藤井雄一郎(岡山農研)

P035　モモの褐変度の年次変動
○川島遼大[1]・清水拓[2]・池田博彦[3]・秋山友了[3]・新谷勝広[3]・深野祐也[1]・藤原崚[1]・本多親子[1]
([1]東京大院農学生命科学研究科,[2]農研機構果樹茶部門,[3]山梨果樹試)

P036　音響振動法によるモモ‘白鳳’の水浸状果肉果の非破壊判別
○福田文夫[1]・岩井綾平[1]・高嶋樹[2]・河井崇[1]・平野健[1]・櫻井直樹[3]
([1]岡山大院環境生命科学研究科,[2](株)寿エンジニアリング,[3](有)生物振動研)

P037　モモ遺伝資源および交雑集団におけるモモ黒斑病の罹病性調査
○浅野貴洋(岡山大農学部)

P038　Characterization of the bud dormancy-related QTLs in Japanese apricot
○向子帆[1]・山根久代[1]・陳文興[1]・西山総一郎[1]・中野龍平[2]・田尾龍太郎[1]
([1]京都大院農学研究科,[2]京都大院農学研究科附属農場)

P039　夏季の高温・少雨がクリの収量および品質に及ぼす影響
○荒河匠[1]・磯村秀昭[1,2]・神尾真司[1]([1]岐阜中山間農研中津川支所,[2]岐阜恵那農林事務所)

P040　自家不和合性品種との交雑後代の *S* 遺伝子型分離により選抜したビワ（*Eriobotrya japonica*）の *S6* ホモ接合体品種・系統
○坂口龍之介[1]・石本慶一郎[1]・山本俊哉[2]・西谷千佳子[3]・澤村豊[3]
（[1]長崎農技開セ果樹・茶部門,[2]農研機構知的財産部,[3]農研機構果樹茶部門）

P041　パインアップル新品種候補‘沖縄 19 号’
○大嶺悠太[1]・竹内誠人[1]・正田守幸[1,3]・諸見里知絵[1,4]・粟國佳史[1,5]・與那覇至[2]・仲村昌剛[2,6]・出花幸之介[1,3]・崎山澄寿[1,7]・松村まさと[1]・武末翔馬[2,8]
（[1]沖縄農研セ名護,[3]沖縄農研セ,[4]沖縄農業大学校,[5]沖縄南部農改普セ,[2]沖縄農研セ石垣,[6]沖縄園芸振興課,[7]沖縄中部農改普セ,[8]沖縄漁港漁場課）

P042　パインアップル育種圃場における収穫期，果実重および糖度の環境分散
山田昌彦[1]・奈島賢児[1]・正田守幸[2]・大嶺悠太[2]・○竹内誠人[2]（[1]日本大生物資源科学部,[2]沖縄農研セ名護支所）

P043　パミスサンドを用いた新たな栽培法によるパインアップルの生育および果実特性の解析
○新垣美香[1]・竹内誠人[2]・赤嶺光[1]・和田浩二[1]（[1]琉球大農学部,[2]沖縄農研セ名護）

P044　ハイブッシュブルーベリー‘スパルタン’と在来野生種シャシャンボとの節間雑種におけるいくつかの果実成分に及ぼす発達ステージの影響
外山由季[1]・堺恵美子[1]・吉岡克則[2]・平野智也[1]・○國武久登[1]（[1]宮崎大農学部,[2]（株）P-DESTM）

P045　ウルトラファインバブル二酸化炭素水のドライミストおよび葉面散布がブルーベリーの栄養生長と果実収量に及ぼす影響
○ Lai, Yi Chun[1]・浜田和俊[2]・尾形凡生[2]（[1]高知大院総合人間自然科学研究科,[2]高知大農林海洋科学部）

P046　落葉松葉を利用したブルーベリーの挿し木繁殖用培養土の開発
○影山史弥[1]・山崎智也[2,3]・湯澤孝哉[3]・松本和浩[1,3]（[1]静岡大院総合科学技術研究科,[2]JA 静岡経済連,[3]静岡大農学部）

P047　ラズベリー‘ヘリテージ’の秋果収穫における収量，果重および内部品質に及ぼす摘果の影響
○今西弘幸・大倉一輝・神田啓臣・吉田康徳（秋田県立大生物資源科学部）

P048　伊豆地域におけるオリーブ 8 品種の生育，収量および収穫作業時間
○浜部直哉・前田未野里・種石始弘（静岡農林技研伊豆農研セ）

P049　オリーブ新品種‘香オリ 3 号’および‘香オリ 5 号’の SSR マーカーを用いた品種識別技術の開発
○水谷亮介[1]・久保有司[1]・山下泰生[2]・田中利幸[3]・窪田健康[3]・森末文徳[2]
（[1]香川農生流課,[2]香川農試府中果樹研,[3]香川農試小豆オリーブ研）

P050　ポポーの開花，結実および種子発芽
○渡辺慶一・神山拓也・水野真二・上吉原祐亮・立石亮・新町文絵（日本大生物資源科学部）

P051　自家・他家受粉がレイシ子房の内生オーキシン類含量に与える影響
○大迫祐太朗・山根久代・キムリュンヒ・宮川恒・田尾龍太郎（京都大院農学研究科）

P052　ミツバアケビにおける有効受粉期間の調査ならびに人工受粉への純花粉の利用の検討
○伊藤晃平[1]・平智[2]・松本大生[2]（[1]山形大院農学研究科,[2]山形大農学部）

## 野　菜

P053　種子繁殖型イチゴ品種‘よつぼし’における種子の長期保存が発芽率に及ぼす影響
○小堀純奈[1]・北村八祥[1]・丹羽千紘[2]・小栗速斗[1]・戸谷孝[3]・森利樹[4]
（[1]三重農研,[2]伊勢志摩普セ,[3]三重県庁,[4]（一社）種子繁殖型イチゴ研究会）

P054　イチゴうどんこ病抵抗性程度の異なる品種における葉中ケイ酸含有率の品種間差異
○宇都俊介・渡邉敏朗・益田良輔・佐伯由美・佐藤公洋・末吉孝行（福岡農林試）

P055　育苗期の昼夜温と施肥量がイチゴ‘佐賀ｉ９号’の花芽分化に及ぼす影響
○伊藤優佑・西美由紀・江頭淳二・田川愛（佐賀県農試研セ）

P056　露地栽培用イチゴ新品種‘東京おひさまベリー’の簡易被覆による収穫期の前進
○海保富士男・木下沙也佳・沼尻勝人・遠藤拓弥（東京農林総研セ）

P057　寒地での半促成栽培における低温遭遇時間がイチゴ‘ゆきララ’の収量に及ぼす影響
○木村文彦・柏谷太亮・福川英司（北海道花・野菜技セ）

P058　局所加温の再加温時期が寒冷地向け半促成栽培に及ぼす影響
○吉田康徳・佐藤美帆・神田啓臣・今西弘幸・林智仁（秋田県立大生物資源科学部）

P059　四季成り性イチゴの高設栽培における再生水利用の可能性
○江口雅丈[1]・濵田康治[2]・岩崎泰永[1]（[1]農研機構野菜花き部門,[2]農研機構農村工学部門）

P060　イチゴポリフェノールを増加させる環境条件の探索
○石橋美咲[1]・宇野雄一[1]・福田伊津子[1]・沖野晃俊[2]・大澤朗[1]（[1]神戸大院農学研究科,[2]東工大未来研）

P061　イチゴにおける地上部形質と根系形質の関係
○鴨志田葵・鎌田えりか・吉留克彦・壇和弘・沖村誠（農研機構九沖農研）

P062　Changes in *TFL1* gene expression in strawberry cultivars
○ Nguyen, Thi Cam・砂川直徹・瀬角美穂・田中義行・後藤丹十郎・安場健一郎・吉田裕一（岡山大院環境生命科学研究科）
P063　家系情報を考慮したイチゴ雄蕊形態異常原因遺伝子の探索
○永野聡一郎[1]・野口裕司[2]・平川英樹[3]・磯部祥子[3]
（[1]森林研究整備機構森林総研林木育種セ,[2]農研機構野菜花き部門,[3]（財）かずさ DNA 研）
P064　農業生物資源ジーンバンクのカボチャ属遺伝資源の遺伝的多様性解析（第２報）
Chen, Ruikun[1]・高村楓[2]・杉山慶太[3]・嘉見大助[3]・下村晃一郎[4]・○吉岡洋輔[1]
（[1]筑波大生命環境系,[2]筑波大院生命環境科学研究科,[3]農研機構北農研,[4]農研機構野菜花き部門）
P065　胚培養によるセイヨウカボチャとペポカボチャとの種間雑種の作出
○郷原優・杉山万里（島根農技セ）
P066　貯蔵中のセイヨウカボチャの糖代謝解析 ３．高貯蔵性カボチャ品種の選抜に利用可能な果実可溶性糖類含量の特徴
○吉田みどり・嘉見大助・杉山慶太（農研機構北農研）
P067　キュウリ遺伝資源‘晩黄瓜’の交雑後代における炭疽病抵抗性の分離
○松尾宏樹[1]・杉山充啓[2]・吉岡洋輔[3]（[1]筑波大院生命環境科学研究科,[2]農研機構本部,[3]筑波大生命環境系）
P068　キュウリ早熟作型における初期生育の品種間差異
○佐藤春菜・田代勇樹（岩手農研セ）
P069　葉面積を異にした養液栽培キュウリの吸水量と日射量の関係
○遠藤昌伸・種村竜太（新潟農総研園研セ）
P070　高軒高ハウスにおけるキュウリの高収量栽培の実証
○須藤裕子（（株）誠和）
P071　施設キュウリの摘芯栽培における群落光合成に基づいた収量構成要素の評価
○藤尾拓也[1]・安東赫[2]（[1]岩手農研セ,[2]農研機構野菜花き部門）
P072　メロン「イバラキング」のヒルネット発生に関する遺伝解析（第２報）
○ Chen, Ruikun[1]・葛谷真輝[1]・白澤健太[2]・八城和敏[1]（[1]茨城農総セ生工研,[2]かずさ DNA 研）
P073　強度耐病性中間母本「SYR」における GFP 発現メロンつる割病菌レース 1,2y の感染動態観察
○大寺宇織[1]・石川友子[1]・有江力[2]・八城和敏[1]（[1]茨城農総セ生工研,[2]東京農工大）
P074　メロンと複数の *Cucumis* 属野生種の正逆交雑親和性の比較
○水﨑菜月・松尾岳法・松本雄一（佐賀大農学部アグリセンター）
P075　冬どりキャベツにおける部位別糖度の把握
○木下沙也佳[1]・沼尻勝人[1]・海保富士男[1]・遠藤拓弥[1]・野口貴[2]（[1]東京農林総研セ,[2]東京島しょ農水総セ）
P076　水田転換畑でのキャベツ栽培における機械除草体系の確立
○軸屋恵[1]・北澤健[1]・粥川朗[2]・三島康宏[3]（[1]滋賀農技振セ,[2]ヤンマーアグリジャパン（株),[3]（株）キュウホー）
P077　Raspberry Pi で動作する AI を利用したキャベツ選果システムの開発
○内村優希[1]・吉田裕一[1]・後藤丹十郎[1]・田中義行[3]・山本晃[2]・大平貴之[2]・安場健一郎[1]
（[1]岡山大院環境生命科学研究科,[3]京都大院農学研究科,[2]（有）エーアンドエス）
P078　画像解析手法を用いたカットキャベツの品質評価手法の開発
○浅井幸[1]・中村宣貴[1]・渡邊高志[1]・椎名武夫[2]・永田雅靖[1]（[1]農研機構食品部門,[2]千葉大院園芸学研究科）
P079　栽植密度の違いがブロッコリー‘おはよう’の生育に及ぼす影響
○大石麻南登・髙橋徳・長澤一寿・佐藤文生・岡田邦彦（農研機構野菜花き部門）
P080　ブロッコリー直播栽培への試み
○菅原魁人[1]・若杉行盛[2]・中住晴彦[1]（[1]北海道総研機構道南農業試,[2]檜山農業改良普及セ）
P081　側花蕾収穫型ブロッコリー‘スティックセニョール’の販売形態の年間推移
○肌野宝星[1]・元木悟[2]（[1]明治大院農学研究科,[2]明治大農学部）
P082　ツケナ類（*Brassica rapa*）のアントシアニン生成に係る遺伝子座の同定
○水野真二・北原真一郎・奈島賢児・上吉原祐亮・立石亮・新町文絵・渡辺慶一（日本大生物資源科学）
P083　水耕栽培におけるカーボンブラックを含有する定植パネルの防藻効果とそのメカニズムの検証
○大石真実[1]・森川信也[1]・草刈眞一[1,2]・西山禎一[3]（[1]大阪環農水総研,[2]大阪府植物防疫協会,[3]トーホー工業（株））
P084　サイシン市販品種および遺伝資源の特性評価と発芽促進
○遠藤（飛川）みのり・村上健二（農研機構西日本農研）
P085　道北地域における紫カラシナの厳冬期無加温栽培の検討
地子立・○古山真一（北海道総研機構上川農試）
P086　静岡水わさびの伝統栽培における定植苗の需給状況
○久松奨・稲葉善太郎・馬場富二夫（静岡農林技研伊豆農研セ）

P087　押し倒し誘引をしない簡易なホワイトアスパラガスの夏秋期長期採り栽培法
○甲村浩之[1]・和泉敏明[2]（[1]県立広島大生命環境学部,[2]いずみ農園）
P088　紫アスパラガスおよび伏せこみ促成栽培用品種の休眠特性
○園田高広・中山恭輔・上野敬司（酪農学園大農食環境学群）
P089　アスパラガスの栽培法の違いが台風通過後の養成茎の枯死率に及ぼす影響
○岡田和樹[1]・田口巧[2]・加藤綾夏[2]（[1]明治大農学部,[2]明治大院農学研究科）
P090　アスパラガスの新栽培法（採りっきり栽培）における被覆資材の利用が生育および収量に及ぼす影響
○田口巧[1]・加藤綾夏[1]・今関豊[2]・元木悟[3]（[1]明治大院農学研究科,[2]（株）三共,[3]明治大農学部）
P091　アスパラガス組織培養における培地への薬剤添加効果
○植田早紀・村上恭子・森充隆（香川農試）
P092　岩手県のタマネギ初冬どり新作型における育苗条件の違いがセット球内の養分量ならびに収量に及ぼす影響
○細越翔太[1]・横田啓[1,2]（[1]岩手農研セ県北農研,[2]岩手農研セ）
P093　秋田県の秋植えタマネギにおける定植時の苗質が越冬後の生育に及ぼす影響
○林智仁[1,2]・本庄求[3]・神田啓臣[1]・今西弘幸[1]・北本尚子[1]・吉田康徳[1]（[1]秋田県大生物資源科学部,[2]大潟村,[3]秋田農試）
P094　タマネギりん茎および葉身におけるケルセチン蓄積と組成の経時変化
○奥聡史・青木和彦・本城正憲・室崇人・塚崎光（農研機構東北農研）
P095　無加温ハウスにおける電照栽培がニラの抽だいに及ぼす影響
○和田絵理子（高知農技セ）
P096　電照処理の光質がニラの生育ならびに抽苔に及ぼす影響
○西村安代[1]・金子朋実[1]・梅津満帆[1]・和田絵理子[2]・橋本和泉[2]（[1]高知大農林海洋科学部,[2]高知農技セ）
P097　葉ネギの抽だい特性の品種比較
○吉田祐子・中山真義・佐藤文生（農研機構野菜花き部門）
P098　葉ネギの加工業務用栽培における生育予測モデルの構築と検証
○植田舞世[1]・小川彰子[1]・松崎朝浩[2]（[1]香川農試,[2]香川農革新支援セ）
P099　ドローン搭載マルチスペクトルカメラを用いた葉ネギの生育量の推定
○松崎朝浩[1]・植田舞世[2]（[1]香川農業革新支援セ,[2]香川農試）
P100　*Capsicum* 属における青枯病抵抗性遺伝資源の探索
○芳賀智仁・古賀和輝・杉田亘（南九州大環境園芸学部）
P101　Regional Variation of Genus *Capsicum* in Myanmar
○ Myat Thu, Khin[1]・宮島郁夫[2]（[1]九州大院生物資源環境科学府,[2]九州大熱帯農学研究セ）
P102　トウガラシの辛味強弱調整のための変異型 pAMT 遺伝子マーカーを用いた戻し交雑育種
○根本和香那[1]・野喜亮祐[2]・後藤丹十郎[2]・吉田裕一[2]・安場健一郎[2]・土井元章[1]・田中義行[1,2]
（[1]京都大院農学研究科,[2]岡山大院環境生命科学研究科）
P103　‘弘前在来’トウガラシを材料としたダイレクト PCR 条件の検討
○坂野雄紀[1]・白川結美子[1]・佐々木萌絵[2]・稲田雅史[1]・山田和輝[1]・佐藤純世[1]・前田智雄[1]・本多和茂[1]
（[1]弘前大院農学生命科学研究科,[2]弘前大農学生命科学部）
P104　‘ししとう’（*Capsicum annuum*）果実の単為結果処理が辛味変動および辛味成分合成関連遺伝子発現におよぼす影響
○近藤文哉[1]・根本和洋[2]・松島憲一[2]（[1]信州大院総合理工学研究科,[2]信州大学術研究院（農））
P105　トウガラシ（*Capsicum chinense*）の高温期の着果率および花粉発芽率と相関のある遺伝子マーカーの作出
山崎彬[1]・白澤健太[2]・○細川宗孝[3]（[1]京都大院農学研究科,[2]かずさ DNA 研,[3]近畿大農学部）
P106　甘トウガラシ‘京都万願寺 2 号’における開花前後の栽培環境要因と規格別収量との関係
○竹本哲行・田中正彦・伊藤俊（京都農技セ農林セ）
P107　成長解析からみたカラーピーマンの品種間差異
○鍋島怜和・横田真・小笠原一真・石井敬子（高知農技セ）
P108　栽培管理方法および栽培時期の違いがパプリカの生長および収量に及ぼす影響
○荒川竜太[1]・岩﨑泰永[2]（[1]東急建設（株）,[2]農研機構野菜花き部門）
P109　*Solanum virginianum* を利用したナスの細胞質置換系統の後代における稔性の変化について
有田隆史[1]・岩吉真輝[1]・辻田有紀[1]・モハマドカーン[2]・○一色司郎[1]（[1]佐賀大農学部,[2]琉球大農学部）
P110　養液栽培されたナスにおける個葉光合成能力の評価
○菅野圭一[1]・前原祥大[2]・村松幸成[1]・高野暢雄[1]・山浦寛子[1]・安東赫[1]・東出忠桐[1]
（[1]農研機構野菜花き部門,[2]熊本農研セ）
P111　低アレルゲントマトの作出に向けた野生種トマト系統および栽培品種の探索
○小林孝至・田淵俊人（玉川大農学部）

P112　トマト果実における芳香成分の組織化学的研究
○榎本光[1]・小林孝至[2]・田淵俊人[2]（[1]玉川大院農学研究科,[2]玉川大農学部）
P113　トマトの染色体断片置換系統を用いた L- アスコルビン酸高蓄積機構の解明
○武田彩季・西山学・大村道明・金山喜則・加藤一幾（東北大院農学研究科）
P114　トマトの単為結果性変異体‘No.14’における単為結果と種子形成に関する特性評価
○北川直也・滝澤理仁・間合絵里・西村和紗・元木航・中野龍平・中﨑鉄也（京都大院農学研究科）
P115　トマト到花日数に関わる量的形質遺伝子座の集積
○中野玄[1,2]・高畑健[3]・峯洋子[3]・杉山信男[1]
（[1]東京大院農学生命科学研究科,[2]（独）日本学術振会特別研究員,[3]東京農大農学部）
P116　トマト IL8-3 領域の E3 ユビキチンリガーゼ様遺伝子の RNAi による発現抑制
○薗部彰[1]・渋谷知暉[2]・西山学[1]・加藤一幾[1]・金山喜則[1]（[1]東北大院農学研究科,[2]島根大生物資源科学部）
P117　促成栽培におけるトマト個体群の光合成と蒸散の推移
○山並篤史（熊本農研セ）
P118　トマトとカラーピーマンの収量予測に基づいた収穫作業能率の改善
○高橋正明・金子壮・菅野秀忠・神崎正明（宮城農園研）
P119　トマト越冬栽培における 2 本仕立て接ぎ木苗が収量に及ぼす影響
○佐々木達史[1]・吉田泰[1,2]・藤尾拓也[1]（[1]岩手農研セ,[2]岩手農普技科農業革新支援担当（軽米））
P120　ミニトマト摘心栽培において育苗時のポットサイズが成長，開花および収量性に及ぼす影響
○太田勝巳・小倉舞・正兼隼人・松本敏一（島根大生物資源科学部）
P121　Effect of light quality on metabolic profile in tomato fruit
○肖凌冉[1]・渋谷知暉[2]・西山　学[1]・加藤一幾[1]・金山喜則[1]（[1]東北大院農学研究科,[2]島根大生物資源科学部）
P122　水環境がトマト水疱症発生に及ぼす影響の品種間差異
○深山陽子（福島大農学群）
P123　日射量や蒸散量の情報をもとにした自動潅水制御システムが冬春トマトの収量等に与える影響
○小田桃子[1]・前田健[1]・松尾尚典[1]・喜多英司[2]（[1]岐阜農技セ,[2]（株）ルートレック・ネットワークス）
P124　閉鎖型養液栽培システム「東京エコポニック」におけるトマトの収量および果実特性
○野口貴[1]・木下沙也佳[2]・沼尻勝人[2]・海保富士男[2]・遠藤拓弥[2]（[1]東京島しょ農水総セ,[2]東京農林総研セ）
P125　トマトの葉序開度に関する研究
○松下渓[1]・神田啓臣[1]・今西弘幸[1]・北本尚子[1]・林智仁[1,2]・吉田康徳[1]（[1]秋田県大生物資源科学部,[2]大潟村役場）
P126　$GA_3$ および NAA の葉面散布がトマト小葉基部の葉柄組織からのダイレクトシュートの発生に及ぼす影響
○宮脇潤・伊達修一・寺林敏（京都府大院生命環境科学研究科）
P127　未熟葉の摘葉処理が着生葉数の少ないトマトの生育および収量に及ぼす影響
○原田正志（徳島農水総技支援セ）
P128　ミニトマトのソバージュ栽培および主枝 1 本仕立て栽培における生育解析
○堤淑貴[1]・髙橋賢人[2]・岩崎泰永[3]・元木悟[2]（[1]明治大院農学研究科,[2]明治大農学部,[3]農研機構野菜花き部門）
P129　トマトにおける果実の発育ステージ毎の成長速度を考慮した収量シミュレーション
○金子壮・神崎正明・高橋正明・菅野秀忠（宮城農園総研）
P130　施設トマトにおける果実の着生および成熟度が収穫果数の変動に及ぼす影響
○村松幸成・東出忠桐（農研機構野菜花き部門）
P131　ハウス内で取得したデジタル画像からのトマト花領域抽出と花色評価に基づく着果予測
○樋江井清隆・小川理恵（愛知農総試）
P132　非破壊画像解析と機械学習によるミニトマト葉面積指数の推測
曾祥宇[1]・池田恭子[2]・上山博[2]・程伟[3]・曹旸[3]・橋本敦史[4]・牛久祥孝[4]・馬家昕[4]・佐々木昌[1]・○鷲田治彦[2]
（[1]オムロン（株）,[2]オーガニック nico（株）,[3]欧姆龙（中国）有限公司,[4]オムロンサイニックエックス（株））
P133　トマト栽培温度の変化が生育と花色に及ぼす影響
○和田楓・小番直樹・貝塚隆史（茨農総セ園研）
P134　リコペン高蓄積を示すトマト染色体断片置換系統の解析
○神田駿哉・西山学・金山喜則・加藤一幾（東北大院農学研究科）
P135　トマトの染色体断片置換系統におけるアミノ酸高蓄積系統の各種アミノ酸分析
○西澤啓・西山学・大村道明・金山喜則・加藤一幾（東北大院農学研究科）
P136　コーヒー粕を用いた異種フェントン触媒によるトマト青枯病の防除
○森川クラウジオ健治（農研機構野菜花き部門）
P137　リアルタイム PCR を用いたアーバスキュラー菌根菌に対する有機栽培法の効果の解析
○徐啓聡・徐会連・加藤茂（自然農法国際研究開発セ）

P138　ホウレンソウ性決定候補遺伝子の特徴付け
○小野寺康之[1]・須藤有紀[2]・平川英樹[3]・鈴木穣[4]
（[1]北海道大院農学院,[2]北海道大院農学研究院,[3]かずさ DNA 研,[4]東京大新領域創成科学研究科）

P139　夏作ホウレンソウに対する遮熱ネット資材による生育促進効果の持続性
○村上健二[1]・遠藤みのり[1]・福岡信之[2]・能任信介[3]
（[1]農研機構西日本農研,[2]石川県立大生物資源環境学部,[3]（株）能任七）

P140　ニンジンのベータカロテン含量の簡易推定法
○中川祥治（（公財）農業・環境・健康研）

P141　春播きにおける収穫時期の違いが色の異なる 6 品種のニンジンの形態および品質に及ぼす影響
○宮本菜々子[1]・渡辺智気[1]・淤見示依[1]・肌野宝星[2]・松永邦則[3]・元木悟[1]
（[1]明治大農学部,[2]明治大院農学研究科,[3]パイオニアエコサイエンス（株））

P142　島ニンジンにおける種皮の有無，温度および播種深度が発芽に及ぼす影響
○砂川春樹[1,2]・鈴木恵理[1]・島袋雄一[1]・宮城悦子[3]・松山隆志[3]・河野伸二[3]
（[1]沖縄県中城村役場産業振興課,[2]琉球大農学部,[3]沖縄農研セ）

P143　アクアポニクスにおけるリーフレタスの成長と培養液の細菌叢の変化
○山根健治[1]・木村侑紀[1]・大和勇輝[1]・前田勇[1]・飯郷雅之[1]・池口厚男[1]・Kim Hye-Ji[2]
（[1]宇都宮大農,[2]Purdue 大園芸・造園学科）

P144　人工光型植物工場における 24 時間日長を活用した高付加価値野菜生産（第 4 報）日長および炭酸カルシウムを添加した培養液の窒素形態がリーフレタスの品質に及ぼす影響
○畑直樹・徐海竜（滋賀県立大環境科学部）

P145　葉洋菜類における新たな育苗資材を用いた短期育苗技術に関する研究
○保勇孝亘[1]・小林輝紀[2]・小松和彦[1]・豊嶋悟郎[1]（[1]長野県野菜花き試,[2]Klasmann-Deilman Asia Pasific Pte Ltd）

P146　浸透圧ストレス下のレタスにアラントインが与える効果
○宇野雄一[1]・斎藤安希子[1]・野尻増俊[2]・浅田隆之[2]（[1]神戸大院農学研究科,[2]（株）カネカバイオテクノロジー研）

P147　Identification of candidate genes associated with stem growth and anthocyanin accumulation in lettuce
○李温裕・李善美・朴漢容（韓国世宗大生命科学部）

P148　外生のジベレリンおよびジベレリン阻害剤処理がツルムラサキの種子発芽に及ぼす影響
○増田順一郎[1]・長谷夏紀[1]・比良松道一[2]・尾崎行生[3]（[1]宮崎大農学部,[2]九州大決断科学セ,[3]九州大院農学研究院）

P149　わい性サヤインゲンの莢形状（くびれ）の遺伝
○棚原尚哉・伊礼彩夏・太郎良和彦（沖縄農研セ）

P150　楕円フーリエ解析を用いた形状評価法のレンコンへの適用
○堀井学・八城和敏（茨城農総セ生工研）

P151　オタネニンジンの生育に関連した窒素同位体比および窒素成分の解析
○岡崎圭毅[1]・久保堅司[2]・秋葉秀一郎[3]・小林大輔[3]・三潴忠道[3]・信濃卓郎[4]・田中福代[1]・大脇良成[1]
（[1]農研機構中央農研,[2]農研機構東北農研,[3]福島県立医大,[4]北海道大）

P152　種間雑種バジルの倍数体作出と倍加条件の検討
○日谷優介（千葉大院園芸学研究科）

P153　サトイモ超低温保存法の開発　乾燥処理時間の系統間差
○福井邦明（農研機構遺伝資源センター）

P154　ジネンジョにおける収穫前の地際部つる切処理が収量および品質に及ぼす影響
○田中哲司[1]・中村嘉孝[2,3]・山田忠[1]・瀧勝俊[2]・大竹敏也[1]・井上栄一[4]
（[1]愛知農総試山間,[2]愛知農総試,[3]東京農工大院連合農薬研究科,[4]茨城大農学部）

P155　キクイモ白絹病の発生に及ぼす硫黄肥料の効果
○松本雄一[1,2]・内田将太[2]・福本有香[2]・金屋紗弥[2]・渡邉啓一[1,2]
（[1]佐賀大キクイモ健康プロジェクト,[2]佐賀大農学部アグリセンター）

## 花　　き

P156　カーネーションにおける *FT* および *FLC* オルソログの解析
○八木雅史[1]・岡本花弥[2]・岩崎万由子[2]・小西晴香[3]・山口博康[4]・宇野雄一[2]
（[1]農林水産省技会事務局,[2]神戸大院農学研究科,[3]神戸大農学部,[4]農研機構野菜花き部門）

P157　赤色 LED を用いた長日処理によるデルフィニウムの花成促進に関する研究
○阿部遼・西山学・加藤一幾・金山喜則（東北大院農学研究科資源生物科学専攻園芸学分野）

P158　発表取り消し

P159　RNA-seq 解析によるアジサイの装飾花と非装飾花での発現遺伝子の比較
上町達也・○小財将哉・前田彩子・小林良乃（滋賀県大環境科学部）

P160　サクラソウの一重咲きおよび八重咲き品種における C および D クラス MADS-box 遺伝子の発現解析
○水田大輝[1]・山本大樹[1]・上野真義[2]・大澤良[3]・窪田聡[1]
（[1] 日本大生物資源科学部,[2] 森林総研樹木分子遺伝,[3] 筑波大生命環境系）

P161　花ハスの八重化要因の探索と C クラス遺伝子の時空間的発現解析
○松澤陸斗・柏村友実子・柴田道夫・樋口洋平（東京大院農学生命科学研究科）

P162　サギソウにおける 3 つの *AGL6* 遺伝子の発現比較解析
○菅野明[1]・カセムチョラタンスダラット[2]・梶野祐未[1]・髙瀬雄基[1]・サンジンパタモン[2]
（[1] 東北大院生命科学研究科,[2] ナレスアン大理学部）

P163　RNAseq によるランの共生発芽に関わる分子メカニズム解明に向けた遺伝子の探索
○稲島七海[1]・志村華子[2]・平田智恵子[2]・藤野介延[2]（[1] 北海道大農学部,[2] 北海道大院農学研究院）

P164　キクの淡黄色花系統におけるカロテノイド酸化開裂酵素遺伝子の発現解析
○藤倉理帆[1]・樋口洋平[1,2]・柴田道夫[1,2]（[1] 東京大農学部,[2] 東京大院農学生命科学研究科）

P165　ツツジ属植物の遺伝資源の活用に関する研究（第 47 報）SSR マーカー解析によるキシツツジと関連園芸品種の類縁関係について
○太田陽哉[1]・河相海[2]・須貝杏子[3]・中務明[3]・小林伸雄[3]
（[1] 島根大院自然科学研究科,[2] 島根大生物資源科学部,[3] 島根大学術研究院農生命科学系）

P166　サツキ‘松波’の咲き分け花冠を用いた RNA-seq による色素合成関連遺伝子の探索
○伊藤瑞樹[1]・水田大輝[1,2]・中務明[3]・小林伸雄[3]・窪田聡[1,2]
（[1] 日本大院生物資源科学研究科,[2] 日本大生物資源科学部,[3] 島根大生物資源科学部）

P167　タバコにおける AtDJ1 プロモーターを用いた環境ストレス応答の視覚化
○孫暢・鈴木栄（東京農工大農学府）

P168　花き市場・流通関係業者における青いキクに対する評価およびニーズの調査
○野田尚信[1]・ルハタイオパット・プウォンケオ[2]・能岡智[1]・間竜太郎[1]・河野恵伸[2]
（[1] 農研機構野菜花き部門,[2] 農研機構企画戦略本部）

P169　カロテノイド色素生合成関連遺伝子によるホトトギスの花色葉色改変および形態への影響
○市橋彰歌[1]・鈴木栄[1]・中野優[2]・大谷真広[2]・三沢典彦[3]（[1] 東京農工大院農学府,[2] 新潟大農学部,[3] 石川県立大）

P170　Flower color alteration by introduction of *crtW* gene in *Petunia* × *hybrida*
○ Phadungsawat, Bodin[1]・金勝一樹[2]・渡辺慶一[3]・水野真二[3]・鈴木栄[2]
（[1] 東京農工大院連合農学研究科,[2] 東京農工大院農学府,[3] 日本大生物資源科学部）

P171　*Calibrachoa pygmaea* の花色変化に及ぼす日長の影響
佐藤健斗[1]・○安藤匡哉[2]・黒沼尊紀[2]・渡辺均[2]（[1] 千葉大園芸学部,[2] 千葉大環境健康フィールド科セ）

P172　シクラメン園芸品種の花弁スリップ部分におけるフラボノール発現
○中村真由美・高村武二郎（香川大農学部）

P173　ダリア‘ネッショウ’の未展開葉での *DvFNS* の発現量と電照を行う時間帯との関係
○岡田啓雅・北村嘉邦（信州大院総合理工学研究科）

P174　ジベレリンが及ぼすペチュニアの複色模様形成への影響
○舘葉月[1]・東未来[1]・百瀬博文[1]・村松嘉幸[1]・窪田聡[1]・中山真義[2]・腰岡政二[1]
（[1] 日本大生物資源科学部,[2] 農研機構野菜花き部門）

P175　キキョウの花のアントシアニジン
○佐野広之[1]・谷川奈津[2]・立澤文見[1]（[1] 岩手大農学部,[2] 農研機構野菜花き部門）

P176　サルビア コクシネア 園芸品種の花のアントシアニン
○瀬戸花香[1]・笹木悟[2]・立澤文見[1,3]（[1] 岩手大院農学専攻,[2] タキイ種苗（株）,[3] 岩手大農学部）

P177　キョウチクトウの花のアントシアニン
○立澤文見[1]・吉越有紗[1]・鈴木栄[2]（[1] 岩手大農学部,[2] 東京農工大院農学府）

P178　紫色ホオズキにおける宿存がくの着色要因およびシンクロトロン光照射による着色変異誘発
○坂本健一郎[1,2]・高村武二郎[2,3]（[1] 佐賀農試研セ,[2] 愛媛大院連合農学研究科,[3] 香川大農学部）

P179　キク矮化ウイロイド抵抗性小ギク系統の育成および特性
○平井弓子（茨城農総セ生工研）

P180　フリージア新品種‘石川 f11 号’
○浅野彩花[1]・小牧正子[1]・村濱稔[2]（[1] 石川農林総研セ,[2] 石川県庁）

P181　新たな交配組合せによるマーガレット属間雑種の作出と雑種判定
○勝岡弘幸・加藤智恵美・種石始弘（静岡農林技研伊豆農業研セ）
P182　新奇性の高い鉢花向け八重咲きリンドウ‘いわてDfG PB-1号’の育成
○小澤傑[1]・渡辺藍子[2]・後藤史奈[2]・西原昌宏[2]・内藤善美[1]（[1]岩手農研セ,[2]岩手生工研セ）
P183　日持ちに優れるバラ品種育成のための花弁形質による日持ち性の選抜効果
○稲崎史光・市毛秀則（茨城農総セ生工研）
P184　スイートピーにおける落蕾発生程度の品種間差
○中村薫（宮崎総農試）
P185　終日開花性ハナスベリヒユにおけるエチレン関連遺伝子の発現解析
○伊藤穂乃花・杉浦尚吾・樋口洋平・柴田道夫（東京大院農学生命科学研究科）
P186　ブバルディアの花粉培養条件の確立および遺伝資源の花粉発芽能力の評価
○宮下千枝子・小坂井宏輔（東京農総研セ）
P187　スターチス・シヌアータ混数体の形態学的特徴付け
○森志郎[1]・桑原彩乃[1]・白野祐里奈[1]・植野耕史[1]・畑中美咲[1]・村田奈芳[2]・杉山慶太[2]・我妻尚広[1]・岡本吉弘[1]・八幡昌紀[3]（[1]酪農学園大農食環境学群,[2]農研機構北農研,[3]静岡大農学部）
P188　花ハス遺伝資源の開花に関する特性評価
○工藤新司（東京大院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構）
P189　エステラーゼアイソザイム分析による伊勢系品種のハナショウブの起源
○知野奈苗[1]・小林孝至[2]・田淵俊人[2]（[1]玉川大院農学研究科,[2]玉川大農学部）
P190　リンドウ花弁に見られる緑色斑点の特性解析
○高橋重一[1]・小澤傑[2]・園池公毅[3]・佐々木克友[4]・西原昌宏[1]
（[1]岩手生工研セ,[2]岩手農研セ,[3]早稲田大教育学部,[4]農研機構野菜花き部門）
P191　弘前公園におけるサクラの種子発芽促進の試みと品種間差異
○青沼彩菜[1]・本多和茂[1]・前田智雄[1]・小林勝[2]・橋場真紀子[2]・海老名雄次[2]
（[1]弘前大院農学生命科学研究科,[2]弘前市都市環境部公園緑地課）
P192　異なる温度がカタクリりん茎内器官の分化発達に及ぼす影響
○勝川健三[1]・本多和茂[2]（[1]弘前大教育学部,[2]弘前大農学生命科学部）
P193　ユリの花被片の伸長と展開には心皮から輸送されるジャスモン酸が寄与する
○深澤拓也[1]・小嶋美紀子[2]・竹林裕美子[2]・榊原均[2]・北村嘉邦[1]（[1]信州大院総合理工学研究科,[2]理研環境資源科学）
P194　カーネーションの異常花発生要因及び遺伝に関する研究
○小泉万里子[1]・謝肖男[2]・山根健治[3]
（[1]宇都宮大院地域創生科学研究科,[2]宇都宮大バイオサイエンス教育研究セ,[3]宇都宮大農学部）
P195　アジサイ‘万華鏡’の育苗時における施肥晩限が生育および開花に及ぼす影響
○加古哲也[1,2]・平佐聡尚[1]・神門卓巳[1]（[1]島根農技セ,[2]鳥取大院連合農学研究科）
P196　窒素およびカルシウムの追加施用がトルコギキョウ‘ピッコローサスノー’の花柄強度に与える影響
○廣住豊一（四日市大環境情報学部）
P197　トルコギキョウ苗のクロロフィル蛍光を指標とした環境ストレス評価
○吉田祐一[1]・牛尾亜由子[2]・福田直子[2]・山崎紀子[1]・佐藤武義[1]（[1]山形庄内産地研,[2]農研機構野菜花き部門）
P198　Germination of *Eustoma*‘Exe Lavender’seed is enhanced after long-term storage by pre-treated PEG-6000 priming
○ファン　トゥタオ[1]・福島啓吾[2]・田中義行[3]・安場健一郎[1]・吉田裕一[1]・後藤丹十郎[1]
（[1]岡山大院環境生命科学研究科,[2]広島総研農技セ,[3]京都大院農学研究科）
P199　シクラメンの最終鉢上げ時期の違いが出荷時の品質と花持ちに及ぼす影響
○浅野正（岐阜中山間農研中津川支所）
P200　アジサイの仕立て本数がプリザーブドフラワー用切り花の収量と品質に及ぼす影響
○上野真生[1]・札埜高志[1,2]・大藪崇司[1,2]・田淵美也子[1,2]
（[1]兵庫県立大院緑環境景観マネジメント研究科,[2]兵庫県立淡路景観園芸学校）
P201　オーニソガラム・シルソイデスの球根の低温処理による開花促進
○神田啓臣[1]・金澤俊成[2]・石原旭[1]・永吉武志[1]・吉田康徳[1]・今西弘幸[1]・北本尚子[1]
（[1]秋田県大生物資源科学部,[2]岩手大教育学部）
P202　育苗期間と根域容量がデルフィニウム・エラータム系の抽苔および切り花形質に及ぼす影響
○後藤丹十郎・河合実花・安場健一郎・吉田裕一（岡山大院環境生命科学研究科）
P203　バラ改良切り上げ方式における採花位置および品種適応性の検討
○永井博也・鈴木一典（茨城農総セ園研）

P204　間欠冷房を模した温度条件がファレノプシスの $CO_2$ 交換速度に及ぼす影響
○熊崎忠[1]・服部裕美[2]（[1]豊橋技術科学大,[2]愛知農総試）
P205　ホルクロルフェニュロン処理がオリエンタル系ユリの切花品質に及ぼす影響（第 1 報）
○大塚英昭[1]・渡邉勧[1]・西島隆明[2]（[1]新潟農総研高農技,[2]農研機構野菜花き部門）
P206　環境制御下におけるキクの高温時の湿度が生育に及ぼす影響
○道園美弦（農研機構野菜花き部門）
P207　作土層の深さの違いが露地栽培の小ギクの品質に及ぼす影響
○地宗紀良・山田忠・大竹敏也（愛知農総試山間）
P208　グロリオーサの組織培養における NAA と TDZ の影響
○楠永祐藏（愛媛大院連合農学研究科）
P209　Induction of adventitious shoots and tetraploids by different antimitotic reagents in *Antirrhinum majus*
○ Hlaing, The Su・Haruka, Kondo・Ayumi, Deguchi・Kazumitsu, Miyoshi
（Laboratory of Ornamental plants, Graduate School of Horticulture, Chiba University）
P210　アサガオ花弁へのエテホン処理による花弁老化の促進が種子生産性に及ぼす影響
○中村理沙・金勝一樹・山田哲也（東京農工大院農学府）
P211　ヒツジグサ花弁の老化過程における老化関連遺伝子の発現
○渋谷健市[1]・水野貴行[2]（[1]農研機構野菜花き部門,[2]国立科博植物研究部）
P212　ペチュニア切り花の老化花弁におけるタンパク質分解機構
○松村千鶴・金勝一樹・山田哲也（東京農工大院農学府）
P213　タンパク質合成阻害剤およびトレハロース処理がグラジオラス小花の老化過程と遺伝子発現に及ぼす影響
○山﨑和希[1]・鈴木智大[2]・北村里香[2]・山根健治[3]
（[1]宇都宮大院農学研究科,[2]宇都宮大バイオサイエンス教研セ,[3]宇都宮大農学部）
P214　Preharvest treatment of dahlia inflorescences with 1-MCP improves cut flower longevity through delaying abscission layer formation.
○楊颺・土井元章（京都大院農学研究科）
P215　オーニソガラム切り花のエチレン感受性 , 日持ちおよび香気成分についての研究
○駿河千晴[1]・神田啓臣[2]・謝肖男[3]・山根健治[4]
（[1]宇都宮大院地域創生科学研究科,[2]秋田県立大生物資源科学部,[3]宇都宮大バイオサイエンス教研セ,[4]宇都宮大農学部）
P216　光環境制御と植物生長調節剤を利用したバラ切り花の品質向上技術の開発
○堀部貴紀・上垣茉穂・勝綾香・伏屋颯太・松尾卓実・高橋佑実・牧田真歩（中部大応用生物学部）
P217　同一環境条件で栽培したキク切り花における暗黒条件下での葉の黄変の品種間差
○湯本弘子[1]・久松完[2]・住友克彦[2]（[1]農研機構本部,[2]農研機構野菜花き部門）
P218　アジサイの装飾的萼片で分化する厚壁柔組織は水分輸送に寄与する
○北村嘉邦[1]・赤堀真子[2]（[1]信州大院総合理工学研究科,[2]信州大農学部）
P219　保管中の管理条件がカーネーション鉢花の品質に及ぼす影響
○近藤万里子・渋谷健市（農研機構野菜花き部門）

## 利　用

P220　「藤里梨」産地における生産者ごとの果実品質とブランドイメージ，消費者ニーズとの関係
○湯澤孝哉[1]・曽根悠介[2]・竹嶋悠次[3]・松本和浩[1]（[1]静岡大農学部,[2]静岡志太榛原農林事務所,[3]静岡藤枝市役所）
P221　ウルトラファインバブルは除草剤の効果を向上させる
○浜田和俊[1]・ライイーチュン[2]・尾形凡生[1]（[1]高知大農林海洋科学部,[2]高知大院総合人間自然科学科）
P222　機械学習によるトマトの果実や花の識別における検討
○福山英亮[1]・進藤卓也[2]・平栗健史[2]（[1]日本工大工学部電気電子工学科,[2]日本工大基幹工学部電気電子通信工学科）
P223　加工・業務用キャベツの端境期出荷に向けた貯蔵性評価
○猪狩恵美・町田剛史・飯嶋直人（千葉農林総研セ）
P224　Shelf-life extension of cabbages using bag-in-box packaging
○ Wambrauw, Daniel・佐藤　裕子・杉野直輝・松元咲樹・北澤裕明（農研機構食品部門）
P225　秋冬ニンジンにおける収穫時期及び品種が長期貯蔵後の品質に及ぼす影響
○蕪野有貴・山下雅大・飯嶋直人（千葉農総研セ）
P226　ミニトマトの長期貯蔵における生分解性鮮度保持資材「アピノンキーパー」の有用性
○寺澤瑞季[1]・藤﨑涼香[1]・堤淑貴[2]・浜薗孝治[3]・元木悟[1]（[1]明治大農学部,[2]明治大院農学研究科,[3]モアディバイス（株））
P227　追熟温度の違いがトマト‘湘南ポモロン・レッド’のカロテノイド生合成関連遺伝子の発現に及ぼす影響
○澤田幸尚[1]・曽我綾香[1]・吉野飛鳥[1]・草野一敬[1]・吉田誠[1]・永田雅靖[2]（[1]神奈川農技セ,[2]農研機構食品部門）

P228　生レンコンの国外輸送における MA フィルム包装の品質保持効果
○渡辺万里[1]・井上栄一[2]・山田毅[3]・宮本貴夫[4]・石井貴[1]
（[1]茨城農総セ園研,[2]茨城大農学部,[3]住友ベークライト（株),[4]（株）れんこん三兄弟）

P229　シソ科大葉抽出液によるイチゴ炭疽病抑制並びに大葉水抽出液 2 次代謝成分のメタボローム解析
○伊藤拓巳[1]・松原陽一[1]・山下幸弘[2]・小林竜一[2]・山村友宏[3]
（[1]岐阜大応用生物科学部,[2]日本オペレーター（株),[3]（株）サイエンス・クリエイト）

P230　サツマイモ塊根のアスコルビン酸–グルタチオンサイクルについて
○今堀義洋・カンタック　チララ・湯浅ふらの・簗瀬雅則（大阪府大院生命環境科学研究科）

P231　キキョウでの菌根菌共生による成長促進並びに薬用根における 2 次代謝成分および遊離アミノ酸変動
○上原想生[1]・松原陽一[2]・谷口匠[3]・尾崎哲也[3]・上野成美[4]・田澤義之[4]
（[1]岐阜大院自然科学技術研究科,[2]岐阜大応用生物科学部,[3]岐阜市農林部,[4]（株）テイコク）

P232　植物ホルモンを処理したカンキツ培養砂じょうのマイクロアレイ解析―カロテノイド代謝周辺の変動について―
○山本梨沙[1]・平井実季[2]・馬剛[1,2]・張嵐翠[2]・八幡昌紀[1,2]・山脇和樹[1,2]・島田武彦[3]・藤井浩[3]・遠藤朋子[3]・加藤雅也[1,2]
（[1]静岡大院総合科学技術研究科,[2]静岡大農学部,[3]農研機構果樹茶部門）

P233　マイクロアレイ解析によるカンキツ果実のノビレチン生合成に関与する重要な候補遺伝子の探索
○馬剛[1,2]・張嵐翠[1]・瀬岡真緒[2]・八幡昌紀[1,2]・山脇和樹[1,2]・島田武彦[3]・藤井浩[3]・遠藤朋子[3]・吉岡照高[3]・太田智[3]・加藤雅也[1,2]（[1]静岡大農学部,[2]静岡大院総合科学技術研究科,[3]農研機構果樹茶部門）

P234　カンキツ果実におけるキサントフィルのエステル化に関わる酵素遺伝子の探索
○山本将士[1]・馬剛[1]・張嵐翠[1]・八幡昌紀[1]・山脇和樹[1]・吉岡照高[2]・太田智[2]・加藤雅也[1]
（[1]静岡大農学部,[2]農研機構果樹茶部門）

P235　ウンシュウミカン果実の着色に及ぼすオーキシンおよび 1- メチルシクロプロペンの影響
○村上歓[1]・久高凜[2]・稲葉迅[2]・馬剛[1]・張嵐翠[1]・八幡昌紀[1,2]・山脇和樹[1,2]・松本光[3]・加藤雅也[1,2]
（[1]静岡大農学部,[2]静岡大院総合科学技術研究科,[3]農研機構果樹茶部門）

P236　カンキツ貯蔵用青色 LED 付設カートラックによる GP 剤散布‘寿太郎温州’果実の腐敗軽減効果の実証
○山家一哲[1]・吉川公規[1,2]（[1]静岡農林技研果樹研セ,[2]静岡県経済農業協同組合連合会）

P237　ビワ‘なつたより’は 0 ℃貯蔵で 2 カ月間鮮度保持ができる
○田﨑望夢・谷本恵美子（長崎農技開セ）

P238　Effect of electron beam irradiation on reactive oxygen species and antioxidative system in harvested mango (*Mangifera indica* L.)
○ Nguyen, Trung Truc[1]・Nguyen, Hong Xuan[2]・Jitareerat, Pongphen[1]・Ma, Gang[3]・Zhang, Lancui[3]・Kato, Masaya[3]
（[1]King Mongkut's University of Technology Thonburi,[2]Can Tho University of Technology,[3]静岡大農学部）

P239　房取り収穫が可能なブルーベリー系統の貯蔵特性
○目黒亜依[1]・宮下千枝子[2]・黒川雄太[3]・赤尾勉[3]・井上栄一[1]・望月佑哉[1]
（[1]茨城大農学部,[2]東京都農総研,[3]（株）ベルグリーンワイズ）

P240　MA 包装貯蔵におけるブドウの香気成分に関する研究
○立木美保[1]・溝添孝陽[2]・山田毅[2]・松本光[1]・中嶋直子[1]・近藤宏哉[3]・佐藤政明[4]・松田賢一[5]・生駒吉識[6]
（[1]農研機構果樹茶部門,[2]住友ベークライト（株),[3]三重農研,[4]長野上田農改普セ,[5]石川農林総研セ,[6]農研機構本部）